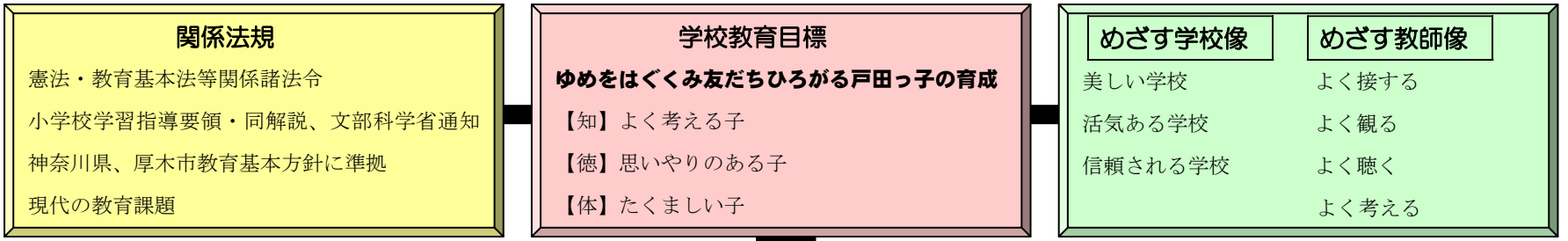


戸田小学校教育課程編成の全体構想



小学校学習指導要領の趣旨を踏まえた基本方針	
<p><重点事項></p> <p>① 学級経営（人間関係・前向きな思考）の充実 ② 基礎的・基本的な知識・技能の定着 ③ 問題解決能力（思考力・判断力・表現力）の育成 ④ 学習意欲の向上・学習規律・学習習慣の確立 ⑤ 豊かな心、健やかな体の育成</p>	<p><授業改善の重点></p> <p>① 体験的な学習や問題解決的な学習で、自発的・主体的学習を促す。 ② 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を取り入れる。 ③ 学習形態や指導体制を工夫し、授業の中のPDCAを充実する。 ④ ICTの活用、図書館（読書、学習情報）の充実と活用を進める。 ⑤ 良い点や進歩を認める肯定的評価を重視する。</p>

教科・道徳・特別活動等

編成の方針	① 「生きる力」の中身である「 確かな学力、豊かな心、健やかな体 」の調和のとれた質の高い教育を進める。 ② 教育目標を達成するため、児童が自発的・主体的・創造的に学習に取り組む能力を育てる。
編成の重点	① 教育目標【知】進んで学び創造的に よく考える子 の育成を重点とする。 ② 基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力・活用力を重視して編成する。 ③ 学級経営、道徳教育、体育や特別活動などを充実し、【徳】 思いやりのある子 【体】心身ともに たくましい子 を育成する

指導の重点				
各教科	道徳	外国語活動	総合的な学習	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律や学習習慣の確立 ○ 知識・技能の定着とその活用 ○ 体験的活動や問題解決的活動による既習事項の活用 ○ 思考力・表現力・判断力・活用力の育成 ○ 言語活動・体験活動の充実 ○ 観察・実験・見学・レポートの作成による既習事項の活用 ○ PDCAによる授業中の評価の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の生き方の基盤となる道徳的価値の形成 ・してはならないことはしない ○ 生活習慣、善悪の判断 ・きまり、協力 ○ 人間関係、社会的自立 ○ 各教科における道徳指導と一貫性のある補充・深化・統合 ○ 人権教育の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の会話や基本的表現に慣れ親しむ ○ コミュニケーションを積極的にしようとする ○ 言語や文化についての体験と実感 ○ 児童の興味・関心の喚起 ○ 学習環境の整備と日常化の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断的・総合的・探求的学習の充実 ○ 全体評価・年間指導計画の作成と活用 ○ 日常生活や社会とのかかわりの重視 ○ 目標（能力・態度）の設定 ○ 各教科等との関連的展開 ○ 子どもの学習状況に応じた指導 ○ 他者との協同による学習活動の重視 	<ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい生活や人間関係づくり ・仲良く助け合い、楽しく ○ 協力し合い、楽しく ・信頼し合って、楽しく ○ 自己の生き方、個性を生かす能力 ○ 話し合い活動の充実 ○ 異学年、異年齢交流の充実

学習指導の方針と工夫	児童指導・キャリア教育の方針と工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等を関連的に展開し、「考える、表す、わかる、できる、使える」ようにする。 ○ 指導と評価の一体化をし、個に応じた指導を充実させる。 ○ 学習形態（ペア・グループ・全体）や指導体制（TT・少人数・習熟度別）の工夫をする。 ○ 児童の良い点や進歩、努力の状況を肯定的に評価し学習意欲を高める。 ○ 理解・習熟、活用のシステム化で、学習の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級経営を充実し、教師と児童、児童と児童の人間関係を育てる。 ○ 児童理解を深め、児童の願いや自己実現を支援する。 ○ 「あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん」などの基本的な生活習慣を重点的に指導する。 ○ 生活指導、教育相談、事例研修を充実させ、いじめや不登校、問題行動などの予防や早期発見即対応を徹底する。 ○ 勤労を重んじ、積極的に努力する態度を形成する。 ○ 夢や希望をもたせ、目標に向かって学習や生活を前向きに送らせる。

授業時間等の取り扱い	指導計画作成の方針と工夫	諸条件の整備
<ul style="list-style-type: none"> ○ 週5日の中で、授業時数を確保する。 ○ 学校裁量の時間（1～2年）総合の時間（3～4年）、外国語活動（5～6年）等で英語活動を行う。 ○ 日課表を工夫し、朝読書の充実を図る。 ○ 1単位時間を45分とし取り組むが、学級閉鎖や災害等による時間数の確保では、一部モジュール制を加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳、総合的な学習の時間、外国語活動、特別活動、食育、保健活動等の全体計画を作成し、各教科等が関連的に展開できるように年間指導計画を作成する。 ○ 「進んで学び、かんがえる子」の育成のため、各教科等の指導の重点を明確にし、指導計画に位置づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館の読書機能と学習情報機能の充実 ○ ICTの整備と活用 ○ 算数・理科の内容の増加に伴う教材教具の整備・活用 ○ 外部授業協力者、ボランティアの参画・参加授業の実施 ○ 学校運営の効率化の推進 ○ 家庭・地域・プロ（その道の達人）との協力・連携の強化